

東日本大震災の救護へ医療救護第4班が出動

第4救護班は、3月31日から4月3日まで福島県あづま総合体育館の救護所での診療、体育館内の巡回診療、福島大学と本宮高校の避難所への巡回診療を行いました。福島県では、地震・津波・放射能・風評被害の4つ「があると話されていました。放射能は見えない敵で先が見えないことへの不安と慣れない避難所生活の疲労が伺えました。また、津波で避難していたお母さんは、「避難しているこの時間をもったいない」と話され、1歩先を見ている言葉が印象に残り、私たちも力をもらいました。被災地一日も早く復興できることを祈ります。

